

人 権 協 会 二 ュ 一 ス

2022年6月68号

発行：摂津市人権協会

事務局：摂津市人権女性政策課

06-6383-1324

定例総会

2022年5月10日(火)

コミュニティプラザ

コンベンションホール

2020・2021年度と新型コロナウイルス

感染症の影響で書面開催でしたが、

2022年度は座席の距離をあげ、アルコ

ール消毒や検温等の感染症対策を講

じながら開催いたしました。

当日はご来賓として、奥村副市長、

南野市議会議長にご祝辞をいただき

ました。

2021年度の事業・決算報告、2022年度の

事業・予算案を審議し可決されまし

た。

各種事業を行うにあたり、あらゆる

人の尊厳が尊重されるには、私たち一

人ひとりが、真摯に人権問題に向き合

い学習を重ね偏見から自らを解き放

ち、真実を知ることが大切だと考えま

す。

2022年度 人権協会役員 (継承略)

会 長

村上 弘二

副 会 長

山下 弘子

副 会 長

松嶋 桂子

副 会 長

西久保 利枝

監 事

中田 孝倫

監 事

林 孝夫

事務局長

浅岡 正幸

定例総会後の記念講演

2022年5月10日(火)

コミュニティプラザ

コンベンションホール

講師 田村 賢一 さん

(大阪府人権協会 代表理事)

「全国水平社100周年にあたり」

定例総会後、大阪府人権協会代表理

事の田村賢一さんを講師としてお迎

えし、「全国水平社100周年にあたり」

をテーマにご講演いただきました。

2022年3月3日、全国水平社は、創立

100周年を迎えました。部落解放運動の

組織として1922年3月3日、京都の岡崎

公会堂で創立大会が開かれ、長年様々

な差別を受けてきた人たちが自らの

自由と平等を訴え立ち上がった記念

すべき日です。「人の世に熱あれ 人

間に光あれ」の言葉は、日本で最初の

人権宣言と言われ、有名な言葉です。

田村さんから、部落の人たちが、長

年苦しめられてきた歴史や、現在もま

だ根強く残る差別等を丁寧にお話し

していただきました。

【参加者の声】 ※一部抜粋

○同和地区出身者の苦しみや大変さが分かり、改めて差別が人生に大きな影響を与えることを実感しました。

○怖いものは、人間の心に宿る偏見である。

○こういった機会でもないと、なかなか歴史も含めて知識を得られることも出来ないのですが、難しい話もありましたが、いろいろと勉強となりました。

○部落解放、水平社と聞くだけで固いお話かなと先入観があったのですが引き込まれるようにお話をおききました。



1年間の予定

5月10日（火） 定例総会

10月20日（木） フィールドワーク

11月17日（木） 第1回ヒューマンセミナー

12月3日（土） ～9日（金）

人権教育啓発作品展

2月14日（火） 第2回ヒューマンセミナー

※各事業の詳細につきましては開催月の1カ月前に市の広報誌に掲載予定です
ので、ご確認ください。



人権教育啓発作品展



ヒューマンセミナー

2022年度事業計画

“敬い 手を携えて” を大切に

様々な人権問題がある中で、その年に重点的に取り組む地域密着型テーマとして、近年高齢者、子ども、障がい者、LGBTを取り上げてきました。

今年度の地域密着型テーマは、日本固有の人権問題である「同和問題」（部落問題）に決しました。

2016年に差別解消三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行されました。

「部落差別解消推進法」は、「差別の存在を認め、差別の解消を推進する」また「施策実施を国及び地方公共団体の責務とする」と法で明記した意義あるものです。部落差別解消推進法施行後丸5年が経ち、省みる時期であり、水平社創立100周年を迎える年という事もあって、同和問題を通じ学習を重ねることで、偏見や差別を無くし誰もが生きづらさを感じない地域社会の実現を目指すことが大切と考えます。

人権に関するお話

今年度の地域密着型テーマは「同和問題」（部落差別）に決定しました。ここで、日本固有の人権問題である「同和問題」（部落差別）について理解を深めましょう。

○摂津市が行った

「人権問題に関する市民意識調査」

市民の人権問題に関する意識の現状を把握し、今後の人権施策のあり方、方向性を考える基礎資料を得ることを目的に、2021年度に、摂津市民2000人（無作為抽出）を対象に、「人権問題に関する意識調査」を実施しました。

意識調査では、「あなたが家を買ったり借りたりにする際に重視する立地条件は何ですか」という質問に対して、「近隣に同和地区があると言われているか」と回答されたのは10.5%でした。

また、「あなたが、結婚相手など、パートナーを決める際に重視することは何ですか」という質問では、「同和地区の出身であると言われていないかどうか」が9.4%、「本籍地・出生地」が5.7%となっていました。

この調査からも、同和問題（部落差別）が決して過去のものではないことがわかります。

○同和問題（部落差別）とは

日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の上で差別を受けたりする日本固有の人権問題です。

①結婚・就職等における差別

本人の資質や能力とは全く関係なく、同和地区出身という理由だけで、結婚や就職といった人生の大切な時期に差別が行われています。

婚約が破談になるなど、精神面や生活面に深い傷を残し、中には自らの命を絶ってしまうという悲しい事例があります。

②不当な身元調査

結婚や就職の際に、調査会社を使ったり戸籍謄本や住民票を不正に取得したりして、本人の知らないところで「出身地」「家柄」等を勝手に調査する事例があります。



③差別書き込み等

近年は匿名性を悪用した、インターネット上の差別的な書き込みが目立っています。

同和地区出身者が自ら公表しているかどうかに関わらず、第三者が本人の許可なく同和地区出身であることを暴露したり、どこに同和地区があるかを摘示したりすることは、決して許されない行為です。

また、特定の地区が同和地区かどうか尋ねる行為も差別行為にあたります。

同和地区に対する差別的な書き込みの
情報に惑わされない
ようにしましょう。



偏見や差別に基づくこうした行為は、他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されないものです。

一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指しましょう。

校区活動報告

2021年12月4日（土）～10日（金）にコミュニティプラザで開催された「人権教育啓発作品展」が、各中学校校区において開催されました。（※小学校の作品のみ展示）

◆一中学校区 中止

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

◆二中学校区 2022年1月30日（日）～2月13日（日）

新鳥飼公民館

◆三中学校区 2022年1月20日（木）～1月25日（火）

コミュニティプラザ

◆四中学校区 2022年2月7日（月）～2月21日（月）

別府コミュニティセンター

◆五中学校区 2022年2月21日（月）～3月7日（月）

味生公民館

◆五中学校区 2021年12月13日（月）～12月19日（日）

鳥飼東公民館



作品集が欲しい方は、事務局までご連絡ください。

フィールドワーク

2022年4月21日（木）

水平社博物館（奈良県御所市）

2022年4月21日に奈良県御所市にある水平社博物館へ見学に行きました。

水平社博物館は、3月3日に全国水平社創立100周年を迎え、リニューアルオープンしております。

従来の展示物に加え、若い世代にも理解してもらえるよう流行のアニメのシーンを使用し、また民族や、性のあり方の多様性など、より広く「人権」を扱い、水平社宣言の理念に通じる国連のSDGs（持続可能な開発目標）についても解説があり、若い世代が身近に感じてもらえるよう工夫をしていました。

また、水平社博物館周辺には、水平社創立の立役者である西光万吉さんや坂本清一郎さんの生家跡、柏原の青年を中心に結成された自主的な団体である燕会の人たちによって建立された燕神社等が点在しています。現地のボランティアガイドの方と一緒に、博物館の周辺のフィールドワークを行いました。

長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の痛切な思いが、綴られているだけでなく、全ての人があらゆる差別を受けることなく、人間らしく暮らしていける社会の実現を願う気持ちが込められていると感じました。



人権なんでも相談

（電話・面接）

☎ 06-6383-1011

◆日時 毎週月曜日～金曜日

午前10時～午後4時

◆場所 摂津市役所4階 人権女性政策課

摂津市人権協会では、あなたの相談を丁寧にお聞きし、一緒に考えさせていただきます。あなた自身、もしくは周りの人が困っていることがありましたら、気軽ににご相談ください。

摂津市人権協会 一入会案内

摂津市人権協会は、人間尊重のまちづくりをめざし、摂津市からも支援を受け、地域に根ざし活動している団体です。各中学校区の皆さんが、自由な発想のもとに人権意識を高めるための講演会・研修会等を開催し活動しています。地域での人権の輪を広げる活動と一緒に参加してみませんか。ご加入を希望される方は、摂津市人権協会事務局までご連絡をお願いします。

※入会金不要

摂津市人権協会事務局

（摂津市役所 人権女性政策課）

☎ 06-6383-1324